

長野県におけるCKD普及啓発活動



長野県 代表
同 地区幹事

上條 祐司
小林 衛



2022年12月版

長野県における CKD 普及啓発活動

長野県CKD啓発チラシ

腎臓食の紹介ブース(市民講座)

市民公開講座

腎臓病教室:腎臓病食の調理実習

慢性腎臓病(CKD)を知っていますか?

たんぱく質や腎機能の低下などの異常が見られる状態をいいます。CKDの初期の段階は、自覚症状がなくて、知らないうちに病状が進行していることがあります。適切な治療を行わず放置しただけで、腎機能が低下し「腎不全」になり、「人工透析が必要」になってしまいます。現在日本にはCKDの患者さんが1,330万人(日本人の8人に1人)いるといわれ、誰もがかかる可能性がある身近な病気です。

長野県の現状

長野県では毎年新たに人工透析を開始する人が550~600人います。

人工透析とは、腎臓が低下した腎臓でのろし、人工的に腎臓や腎臓の働きを補う装置で、血液をろ過し、老廃物や水分を体外へ排出して、体内の水分や電解質のバランスを調整し、血圧を調整し、血液を浄化するためのホルモンをつくる働きを人工的に補ってあげます。

腎臓の働き

腎臓は、そのまめに似た形をして、腰のあたりに左右対称にひとつずつあります。大人の重さ約150gほどです。生活習慣病が原因で、腎臓が弱ると、老廃物や水分を体外へ排出できず、体内にたまり、血圧が高くなり、心臓や血管に負担がかかります。

CKDと生活習慣病は密接に関連しています!!

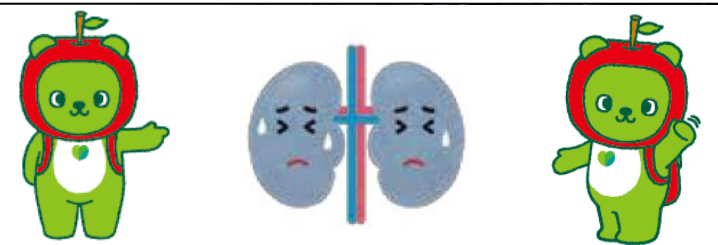
腎機能が低下する原因として、近年は、糖尿病や高血圧などの生活習慣病が原因となることが増えてきました。生活習慣病は、全身の血管を傷めます。腎臓の血管も例外でなく、傷められやすくなります。一度傷ついた腎臓は元には戻りません。血圧や血糖値をコントロールすることは、生活習慣病のみでなくCKDの予防にも繋がります。



それでも腎臓病食?を作っています!



長野県PRキャラクター「アルクマ」CKD啓発中



松本市健康フェスティバルCKDブース(CKD相談)

CKD対策としての腎移植：長野県における啓発活動

信濃毎日新聞への新聞広告

大切な人、守りたい人、
愛する人を助けてくれるのは
見知らぬ誰かかもしれない

長野県では臓器提供に関する意思表示割合が4%弱と全国平均よりかなり低く（信州大学医学部附属病院へ）移植医療の恩恵を多くの患者さんが受けていません。この機会に、臓器提供の意思表示をお願いします。

臓器提供意思表示方法
詳細は日本臓器移植ネットワークホームページをご覧ください。<https://www.jom.or.jp/item/method/>

臓器移植に関わる先生から、長野県民の皆様に向けてのメッセージ（QRコードからご確認ください。）

長野県腎移植推進協議会代表 信州大学 消化器・移植・小児外科教授 石塚隆先生
信州大学 消化器・移植・小児外科教授 野崎雄二先生
長野県透析研究会会長 信州大学附属病院腎臓科 上野祐司先生
長野県腎臓病研究会会長 信州大学附属病院腎臓科 鈴木郁美先生
長野県アイバンク・臓器移植推進協議会 代表理事 長野県立総合医療センター 藤原 隆先生
腎臓病専門医 信州大学附属病院腎臓科 村上隆先生

長野県腎移植推進協議会、長野県透析研究会、長野県透析協会、長野県アイバンク・臓器移植推進協議会

本広告内容に対する問い合わせ先
長野県アイバンク・臓器移植推進協議会 〒380-0928 長野市若里7丁目1番5号
TEL:026-226-1516 Mail:nagano.eye.bank@zb.wakwak.com

地元テレビ局との協力による啓発活動

長野県 臓器移植普及推進事業 × マイチャン。テレビ信州

～「臓器提供の意思表示をお願いします」～

15秒テレビCM
news every. 特集枠×2回
協賛特典

高思表示の啓発CMを作成&放送
【放送期間】
10月の臓器移植推進月間中に
1日1本（計31本）放送
【CM内容】
別紙参照

臓器移植に関わる生の声を届ける
【レシピエント目録】
移植を願う人、叶った人の現状
【ドナー目録】
意思表示をしている人の現状
意思表示のきっかけは？ 家族はどう考えている？
提供を決断した家族の回顧
脳死をどう受け止めた？ 生前はどんな話をしていた？

2021年7月10日（土）
放送の番組を再放送いたします。
候補日：①9月13日（月）～9月17日（金）の
どこか1日で16時台or17時台
②2021年末（12月25日以降）

番組ターゲット：全年代
※7月10日の推定視聴人数およそ4,4万人

松本城&テレビ信州鉄塔の
ライトアップ

グリーンリボンデー（10月16日）に合わせ
ライトアップ（18時～21時）
実施日程 10月15～16日予定（要相談）
news every.（県内版）で情報カメラを用いて告知

臓器提供意思表示 啓発のためのTVコマーシャル

10月は臓器移植普及推進月間

最期のときに残せるもの…
音声
最期のときに残せるもの…
2.5秒

移植手術を待っている人がいます
臓器提供があります。
3秒

健康保険証 運転免許証 マイナンバーカード
私たちに出来る方法は5つ。
4秒

意思表示カード インターネット

Yes No
YesでもNoでも
2.5秒

グリーンリボンは移植医療のシンボルマークです
臓器提供の意思表示を
臓器提供の意思表示を。
3秒

地元テレビ局との協力による 腎移植啓発ドキュメント番組の作成

自然・暮らし部門
チャンネル4
腎臓を待つ
移植手術をめぐる家族の選択

製作：株式会社テレビ信州／企画・委託：株式会社マウント
あなたは家族に腎臓をあげる、あるいはもらうことができますか？
親子間夫婦間で行われる生体腎移植。移植手術をめぐる様々な
家族の思いを見つめ日本の腎移植の実態に迫る。（TV45分）

第63回科学技術映像祭
自然・暮らし部門
文部科学大臣賞受賞！

